



2026年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2026年2月10日

上場会社名 株式会社 翻訳センター 上場取引所 東
コード番号 2483 URL <https://www.honyakuctr.com>
代表者 （役職名） 代表取締役社長 （氏名） 二宮 俊一郎
問合せ先責任者 （役職名） 取締役管理統括 （氏名） 魚谷 昌司 TEL 06-6282-5013
配当支払開始予定日 —
決算補足説明資料作成の有無：無
決算説明会開催の有無：無

（百万円未満切捨て）

1. 2026年3月期第3四半期の連結業績（2025年4月1日～2025年12月31日）

（1）連結経営成績（累計）

（％表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	％	百万円	％	百万円	％	百万円	％
2026年3月期第3四半期	8,101	△2.3	513	△10.0	542	△6.5	345	△17.5
2025年3月期第3四半期	8,298	△0.2	570	△1.4	580	△2.8	418	4.6

（注）包括利益 2026年3月期第3四半期 342百万円（△6.6％） 2025年3月期第3四半期 366百万円（△11.5％）

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2026年3月期第3四半期	102.99	—
2025年3月期第3四半期	125.11	—

（2）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	％
2026年3月期第3四半期	8,485	6,864	80.8
2025年3月期	8,836	6,760	76.5

（参考）自己資本 2026年3月期第3四半期 6,864百万円 2025年3月期 6,760百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年3月期	—	0.00	—	75.00	75.00
2026年3月期	—	0.00	—		
2026年3月期（予想）				75.00	75.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2026年3月期の連結業績予想（2025年4月1日～2026年3月31日）

（％表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	％	百万円	％	百万円	％	百万円	％	円 銭
通期	11,400	1.6	900	1.0	920	1.5	630	△12.9	187.81

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更：無
新規 ー社 (社名) 、除外 ー社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

(注) 詳細は、添付資料P. 7 「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 (四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理に関する注記)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2026年3月期3Q	3,369,000株	2025年3月期	3,369,000株
② 期末自己株式数	2026年3月期3Q	12,207株	2025年3月期	18,822株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	2026年3月期3Q	3,353,477株	2025年3月期3Q	3,346,828株

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー：無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性がございます。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料P. 3 「1. 経営成績等の概況 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当四半期の経営成績の概況	2
(2) 当四半期の財政状態の概況	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	5
四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理に関する注記)	7
(四半期連結貸借対照表に関する注記)	7
(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	7
(セグメント情報等の注記)	8

1. 経営成績等の概況

(1) 当四半期の経営成績の概況

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、雇用・所得環境の改善や各種政策の効果により、引き続き緩やかな回復基調で推移いたしました。一方で、米国の通商政策に伴う不透明感の継続や海外経済の減速による先行き懸念、物価上昇の継続、金融資本市場の変動等が景気下振れリスクとして引き続き注視される状況にあり、依然として不透明な環境が続いております。

また当社を取り巻く事業環境は、機械翻訳（MT）や生成AIの普及により大きく変化しており、これまで以上にAI・データ活用による事業競争力の強化が重要な課題であると認識しております。

このような経営環境のもと、当社グループは、2026年3月期～2028年3月期を対象とする中期経営計画を踏まえ、翻訳支援ツール（CAT）、機械翻訳（MT）、大規模言語モデル（LLM）などの自然言語処理技術を活用したサービスの提供に加え、データ分析に基づく営業・マーケティングを推進し、事業競争力の強化に努めております。

これらの結果、当第3四半期連結累計期間の経営成績につきましては、通訳事業が同期間として過去最高の売上高を更新した一方で、コア事業である翻訳事業において、米国の通商政策に対する不透明感を背景に、連結売上高は前年同期比2.3%減の8,101百万円となりました。利益面につきましては、グループ全体で経費削減に取り組んだものの、営業利益は前年同期比10.0%減の513百万円、経常利益は前年同期比6.5%減の542百万円、親会社株主に帰属する四半期純利益は前年第3四半期に計上した子会社株式売却益の反動減により前年同期比17.5%減の345百万円となりました。

各セグメントの経営成績は次のとおりであります。

① 翻訳事業

特許分野では企業の知的財産関連部署の一部大口顧客において受注が減少した一方、新規大口顧客との取引開始および主要顧客である特許事務所からの受注が増加し、売上高は前年同期比1.6%増の2,243百万円となりました。

医薬分野では外資製薬における特定の大口顧客からの受注増加および内資製薬における複数の大型案件の獲得が寄与し、売上高は前年同期比3.7%増の1,976百万円となりました。

工業・ローカライゼーション分野では米国の通商政策に対する不透明感を背景とした、自動車関連企業を中心とする顧客からの受注減少に加え、前年同期にエネルギーおよびサービス関連企業から獲得した大型案件の反動減も影響し、売上高は前年同期比16.0%減の1,355百万円となりました。

金融・法務分野では適時開示情報を対象とした新サービスの提供開始もありIR関連文書の受注が増加した一方、法務関連文書等の受注減少と前年同期に獲得した官公庁の大型案件の反動減が影響し、売上高は前年同期比14.8%減の409百万円となりました。

これらの結果、翻訳事業の売上高は前年同期比3.5%減の5,984百万円となりました。

② 派遣事業

派遣事業においては、高い語学力を持つ人材への底堅い需要から人材紹介による紹介手数料収入は前年同期を上回る水準で推移したものの、常用雇用者数が伸び悩み、売上高は前年同期比5.3%減の848百万円となりました。

③ 通訳事業

通訳事業においては、既存顧客である医薬品関連企業、電子・電子部品メーカー等からの継続的な受注に加え、複数のグローバル会議案件と大型スポット案件を獲得した結果、売上高は前年同期比9.1%増の1,020百万円となり、当第3四半期連結累計期間として過去最高を更新しました。

④ その他

その他のセグメントにおいては、コンベンション事業縮小に伴う減収により、売上高は前年同期比4.5%減の249百万円となりました。

（2）当四半期の財政状態の概況

（資産）

当第3四半期連結会計期間末における流動資産は6,975百万円となり、前連結会計年度末に比べ691百万円減少いたしました。これは主に翻訳事業の代金回収により、受取手形及び売掛金が減少しているためであります。固定資産は1,509百万円となり、前連結会計年度末に比べ340百万円増加いたしました。これは主に無形固定資産のその他が増加したことによるものであります。

この結果、総資産は8,485百万円となり、前連結会計年度末に比べ350百万円減少いたしました。

（負債）

当第3四半期連結会計期間末における流動負債は1,362百万円となり、前連結会計年度末に比べ486百万円減少いたしました。これは主に賞与引当金が減少したことによるものであります。固定負債は258百万円となり、前連結会計年度末に比べ31百万円増加いたしました。これは主に退職給付に係る負債が増加したことによるものであります。

この結果、負債合計は1,620百万円となり、前連結会計年度末に比べ454百万円減少いたしました。

（純資産）

当第3四半期連結会計期間末における純資産は6,864百万円となり、前連結会計年度末に比べ103百万円増加いたしました。これは主に親会社株主に帰属する四半期純利益の計上及び剰余金の配当を実施したことによるものであります。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2026年3月期の業績予想につきましては、2025年5月13日の「2025年3月期 決算短信」で公表いたしました通期の連結業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2025年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,825,751	4,851,461
受取手形及び売掛金 (純額)	2,073,441	1,598,518
電子記録債権	126,424	166,855
仕掛品	122,634	191,347
その他	518,833	167,602
流動資産合計	7,667,084	6,975,786
固定資産		
有形固定資産	209,672	200,528
無形固定資産		
のれん	53,045	103,107
その他	40,022	285,413
無形固定資産合計	93,067	388,520
投資その他の資産	866,459	920,839
固定資産合計	1,169,199	1,509,888
資産合計	8,836,284	8,485,675
負債の部		
流動負債		
買掛金	743,874	651,664
1年内返済予定の長期借入金	—	4,800
未払法人税等	191,769	39,088
返金負債	2,510	1,901
賞与引当金	310,771	149,516
役員賞与引当金	25,000	21,000
その他	574,461	494,163
流動負債合計	1,848,387	1,362,135
固定負債		
長期借入金	—	14,000
役員退職慰労引当金	11,408	11,408
退職給付に係る負債	215,740	233,404
固定負債合計	227,148	258,812
負債合計	2,075,536	1,620,947
純資産の部		
株主資本		
資本金	588,443	588,443
資本剰余金	478,823	478,823
利益剰余金	5,703,194	5,793,498
自己株式	△46,303	△29,797
株主資本合計	6,724,157	6,830,967
その他の包括利益累計額		
退職給付に係る調整累計額	36,590	33,761
その他の包括利益累計額合計	36,590	33,761
純資産合計	6,760,747	6,864,728
負債純資産合計	8,836,284	8,485,675

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年12月31日)
売上高	8,298,833	8,101,943
売上原価	4,376,896	4,241,526
売上総利益	3,921,937	3,860,417
販売費及び一般管理費	3,351,556	3,347,167
営業利益	570,380	513,250
営業外収益		
持分法による投資利益	14,273	22,765
為替差益	—	1,025
その他	1,443	5,747
営業外収益合計	15,717	29,537
営業外費用		
支払利息	—	124
為替差損	5,692	—
雑損失	1	41
その他	—	15
営業外費用合計	5,693	181
経常利益	580,404	542,606
特別利益		
子会社株式売却益	37,384	—
特別利益合計	37,384	—
特別損失		
固定資産除却損	491	286
特別損失合計	491	286
税金等調整前四半期純利益	617,297	542,320
法人税等	198,570	196,930
四半期純利益	418,726	345,390
親会社株主に帰属する四半期純利益	418,726	345,390

（四半期連結包括利益計算書）

（単位：千円）

	前第3四半期連結累計期間 （自 2024年4月1日 至 2024年12月31日）	当第3四半期連結累計期間 （自 2025年4月1日 至 2025年12月31日）
四半期純利益	418,726	345,390
その他の包括利益		
為替換算調整勘定	△52,319	—
退職給付に係る調整額	581	△2,829
その他の包括利益合計	△51,737	△2,829
四半期包括利益	366,989	342,560
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	366,989	342,560
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

（3）四半期連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。

（四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理に関する注記）

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

（四半期連結貸借対照表に関する注記）

資産の金額から直接控除している貸倒引当金の額

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2025年12月31日)
流動資産	744千円	260千円
投資その他の資産	1,321	1,326

（四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記）

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費（のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。）及びのれんの償却額は、次のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年12月31日)
減価償却費	15,342千円	33,235千円
のれんの償却額	12,241	13,838

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:千円)

	報告セグメント				その他 (注)	合計
	翻訳事業	派遣事業	通訳事業	計		
売上高						
翻訳						
特許	2,207,358	—	—	2,207,358	—	2,207,358
医薬	1,904,685	—	—	1,904,685	—	1,904,685
工業・ローカラ イゼーション	1,614,256	—	—	1,614,256	—	1,614,256
金融・法務	480,830	—	—	480,830	—	480,830
人材派遣	—	895,781	—	895,781	—	895,781
通訳	—	—	935,056	935,056	—	935,056
その他	—	—	—	—	260,862	260,862
顧客との契約から生 じる収益	6,207,131	895,781	935,056	8,037,970	260,862	8,298,833
その他の収益	—	—	—	—	—	—
外部顧客への売上高	6,207,131	895,781	935,056	8,037,970	260,862	8,298,833
セグメント間の内部 売上高又は振替高	21,786	4,322	268	26,377	643	27,021
計	6,228,918	900,104	935,325	8,064,348	261,506	8,325,854
セグメント利益又は損 失(△)	470,937	75,355	129,097	675,390	△108,195	567,194

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、外国出願支援事業等を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	675,390
「その他」の区分の利益	△108,195
セグメント間取引消去	3,185
四半期連結損益計算書の営業利益	570,380

Ⅱ 当第3四半期連結累計期間（自 2025年4月1日 至 2025年12月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位：千円)

	報告セグメント				その他 (注)	合計
	翻訳事業	派遣事業	通訳事業	計		
売上高						
翻訳						
特許	2,243,853	—	—	2,243,853	—	2,243,853
医薬	1,976,344	—	—	1,976,344	—	1,976,344
工業・ローカライゼーション	1,355,048	—	—	1,355,048	—	1,355,048
金融・法務	409,216	—	—	409,216	—	409,216
人材派遣	—	848,026	—	848,026	—	848,026
通訳	—	—	1,020,346	1,020,346	—	1,020,346
その他	—	—	—	—	249,106	249,106
顧客との契約から生じる収益	5,984,463	848,026	1,020,346	7,852,836	249,106	8,101,943
その他の収益	—	—	—	—	—	—
外部顧客への売上高	5,984,463	848,026	1,020,346	7,852,836	249,106	8,101,943
セグメント間の内部売上高又は振替高	15,183	1,315	583	17,082	489	17,572
計	5,999,647	849,341	1,020,929	7,869,919	249,596	8,119,515
セグメント利益	355,882	32,949	98,293	487,125	25,168	512,293

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、外国出願支援事業等を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容（差異調整に関する事項）

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	487,125
「その他」の区分の利益	25,168
セグメント間取引消去	2,554
のれんの償却額	△1,597
四半期連結損益計算書の営業利益	513,250